

# 学校長通信 No.7

## 平成 26 年度 2 学期始業式 式辞

---

\* 皆さん、いい夏休みでしたか。毎日暑い日が続いていますが、体調を壊したりしていませんか。何を  
するにも健康が一番。勉強でもスポーツでも仕事でも全部同じことで、基本の基本は健康です。夏の  
疲れがどっと出てくる頃でもありますので、これまで以上に健康管理に十分注意してください。皆さんが  
これから大人になっていくと、ただ自分がしんどいかどうかというだけではなく、自分の健康管理がちゃんと  
できるかどうか、他人からの信頼のバロメーターになったりします。生まれつき体の強い弱いもあって、  
私たちはそれを背負って生きているわけですので、ひとくりに話すことは間違っていますが、体調管理の  
できるできない、は大人への入り口です。自分や仲間の健康や体のことを気遣う気持ちを大切にしてい  
ってください。

\* あんまり暑いので、今日の話はひとつだけにします。このハンドタオルを見てください。見た目はなんて  
ことないです。でもこれ普通のタオルではありません。オーガニックコットンをこだわりのオーガニックな製法  
で作上げたオーガニックタオルです。オーガニックって何って？ 農薬や化学肥料を一切使わず、その土  
地の太陽・水・土の力だけで作った農林水産物あるいはその製法のことです。すごい手間です。こう聞  
いただけで、さっき話した健康や環境にやさしい、それでいて生命力に溢れた強さを感じますよね。どう  
ですか、皆はこのタオル使いたくないですか。値段は高いです。だったらいらん？ 拭ければ何でもいい？  
そうですね、先生も普通はそう思います。でも、それが自分の生まれてくる子ども用だったり、大切な人  
への贈り物だったらどうですか。化学薬品どぶ浸けで吸水性の悪い、こすり取るだけの安いタオルでいい  
ですか。そうなるとちょっと話は別になりますよね。

しかも、これ。この泉佐野で作られているタオルなんです。最近はちょっと微妙ですが、泉佐野をはじめ  
ここ泉南が世界有数のタオルの生産地だったことは知ってますよね。ここで会社名をいうと宣伝になって  
しまうので、これ以上は言えませんが、作っているのは日根野中学校出身の 25 歳の若者です。この  
あいだ、ちょっと知り合いになりました。彼は日根中の時代からスポーツマンで、大学時代にはみんなも  
よく知っている箱根駅伝を走ったランナーでもあります。そんな若者がアフリカのウガンダまで行って良質

のオーガニックコットンを現地の人たちといっしょに育て、それを日本にフェアトレードして親父さんと二人で泉佐野の太陽と水でもってこのタオルを作っています。機械も使っておられますが、製法をお聞きすると限りなくハンドメイドです。オーガニックの本場フランスやアメリカやあっちこっちで、世界標準の認証を取っておられて、アフリカの大地発・泉佐野生まれ・全世界行きの「小さいけれど地元泉南に根付いた素晴らしいグローバル企業」です。

こんな先輩が、すぐそばにいるなんてちょっとスゴイですね。グローバル企業といっても何もアップルやトヨタというような大きな会社だけではないんですねえ。この先輩ほどカッコよきは生きていけないかもしれないけれど、地味に地元で暮らしているだけでグローバルなんて関係ないと思ってたけど、気が付いたら「地元の仲間と力を合わせて、世界といっしょに仕事していた」なんて、皆さんの時代はそれが当たり前になるように思います。世界を相手に勝てるビジネスをする、そのためには先ず国際経験を積んで・・・なんて身構えなくてよくなるかもしれませんね。世の中の誰かの役に立つことを見つけて、それに丁寧に取り組んでいけば、どこに住んでいようとどこで働いていようと、勝手に世界に繋がっている。そういう時代なんだと思います。それが私の思っている大阪グローバル人材のひとつのカタチです。

\* タオル 1 枚で話が膨らんでしまいましたが、まとめておきます。生き方はいろいろありますが、ポイントはひとつだと思います。それが世界の誰かを幸せにしているか。それが家族や仲間を幸せにしているか。これだけだと思います。そうであれば、世界中を飛び回るような人生でも、地元泉南に根付いた人生でも関係ありません。大きな組織で働く人生でも、家族や少数の仲間だけで働く人生でも関係ありません。さあ、皆さんはどんな生き方をしてみたいと思いますか。